

平成30年第4回教育委員会会議事録

1 開催日時

平成30年3月9日(金) 午後3時05分～午後3時46分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

	教 育 長	田村 修一
教育委員	教育長職務代理者	小尾 一彦
	委 員	瀧本 洋次
	委 員	東 みどり
事 務 局	教育部長	岡田 直之
	学校教育課長	高橋 修二
	生涯学習課長	石野 郁也
	給食センター所長	宮田 哲
	図書館長	武田 健吾
	総務係長	中山 仁
	学校教育係長	岡田 篤
	学校教育推進員	高橋 康伸
	学校教育推進員	中村 吉昭

4 議 事

報告第8号 平成29年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について

報告第9号 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

議案第17号 学校職員の解職の内申について

議案第18号 学校職員の解職の内申について

議案第19号 学校職員の解職の内申について

議案第20号 学校職員の解職の内申について

議案第21号 平成30年4月1日付け校長人事異動の内申について

議案第22号 平成30年4月1日付け教頭人事異動の内申について

議案第23号 平成30年4月1日付け一般教職員人事異動の内申について

議案第24号 平成29年度幕別町文化賞、スポーツ賞等の被表彰者の決定について

5 議事概要 次のとおり

田村教育長 ただ今から、第4回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1、会期の決定についてお諮りいたします。会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

田村教育長 異議なしと認め、会期は本日1日限りと決しました。

次に日程第2、会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に、1番瀧本委員、4番小尾委員を指名いたします。

次に日程第3、前回会議の承認であります。第3回教育委員会会議について別紙議事録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

田村教育長 異議なしと認め、第3回教育委員会会議を承認いたします。

次に日程第4、事務報告についてであります。事務局の方から何かございますか。

(ありません。)

田村教育長 ないようですので、次に議件に入ります。

日程第5、報告第8号平成29年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について説明を求めます。

教育部長(岡田 直之) それでは、報告第8号平成29年度幕別町一般会計補正予算の要求結果についてご説明申し上げます。

議案書の1ページをご覧くださいと思います。

報告第8号、平成29年度幕別町一般会計補正予算の要求結果について、ご説明を申し上げます。

平成30年第1回町議会定例会が、3月2日から16日までを会期として開会されたところであります。

本議会に教育委員会として、補正予算を要求いたしましたので、その要求結果についてご説明いたします。

今回の補正予算につきましては、10款教育費の予算に1,457万1千円を追加し、予算の総額を14億6,841万8千円として、本定例会に提案され、3月2日の本会議におきまして、全て要求どおり議決されたところであります。

内容といたしましては、2月21日の第3回教育委員会会議でご説明させていただいたとおりであります。

以上で説明を終わらせていただきます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第8号につきましては、報告のとおりといたします。

次に日程第6、報告第9号平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について説明を求めます。

学校教育課長(高橋 修二) それでは、報告第9号平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてご説明申し上げます。

別冊の報告第9号説明資料をご覧くださいと思います。

平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査につきましては、子供の体力や運動能力の状況を把握、分析することにより、子供の体力や運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に、平成29年4月から7月にかけて実施され、先月下旬に、北海道教育委員会から調査結果の公表があったところであります。

町内の小学5年生と中学2年生の調査結果の概要についてであります。参加校及び参加人数につきましては、小中学校ともに全ての学校が実施したところであり、参加人数は、小学生が230人、中学生が253人であります。

次に、体力・運動能力の概要についてであります。1の体格につきましては、小学生は、身長については男女ともにおおむね全国平均と同様であります。体重については男女ともに全国・全道平均を上回っております。

中学生は、男子は身長、体重ともに全国平均を上回っておりますが、全道平均を下回り、女子は身長、体重ともに全国・全道平均を上回っております。

次に、2の体力についてであります。小学生の男子は、握力、長座体前屈、ソフトボール投げについて、高い能力が見受けられたものの、全体の傾向としては、全国・全道平均を下回り、女子は握力、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げと、全体的に高い能力が見受けられ、全国・全道平均を上回る結果でありました。

中学生の男子は、持久走で高い能力が見受けられたものの、全体の傾向としては全国・全道平均を下回り、女子は反復横とび、持久走、シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げと、全体的に高い能力が見受けられ全国・全道平均を上回る結果となったところでございます。

次に、運動習慣の概要についてでございますが、1の運動部・スポーツクラブの所属状況、につきましては、運動部等に所属する児童生徒の割合は、小学生の男女ともに、全国平均を下回ったものの全道平均を上回っており、中学生の男女はともに、全国・全道平均を上回っております。

また、運動は大切だと思う、と答えた児童生徒は、小学生の女子を除き、いずれも全国・全道平均を上回っております。

2の体育授業について感じていることにつきましては、小中学生ともに授業が楽しい、との回答が、全国・全道平均を上回るなど、全体的に全国・全道平均を上回る回答の項目が多く、体育授業への興味の高さが、伺える回答となっております。

3のオリンピック・パラリンピックへの気持ちにつきましては、選手として出場してみたい、という回答は、小中学生ともに全国・全道平均を下回っておりますが、小学生の男女においては、内容や歴史を知りたい、という回答が、全国・全道平均を上回っており、オリンピック・パラリンピックへの関心は高いことが伺える回答となったところでございます。

本町では、平成26年度から、全国調査の対象となる小学5年生と中学2年生以外の学年においても、体力テストを行っているところであり、各学校では、児童生徒の調査結果を毎年記録し、経年変化の状況が分かるように記録し、一人一人の児童生徒の目標を設定しながら、体力の向上を目指しているところでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。報告第9号につきましては、報告のとおりといたします。

次に日程第7、議案第17号学校職員の解職の内申についてから、日程第13、議案第23号平成30年4月1日付け一般教職員人事異動の内申までにつきましては、人事案件のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし。)

田村教育長 異議なしと認め、秘密会といたします。

田村教育長 秘密会を解きます。

次に日程第14、議案第24号平成29年度幕別町文化賞、スポーツ賞等の被表彰者の決定について説明を求めます。

生涯学習課長（石野 郁也） それでは、議案第24号平成29年度幕別町文化賞、スポーツ賞等の被表彰者の決定についてご説明申し上げます。

議案書の15ページをご覧くださいと思います。

文化及びスポーツに関する表彰は、ともに2区分に分かれておりますが、議案書にはそれぞれ被表彰者数を示させていただいておりますが、個人が73、団体が17で、合わせて90となります。

それでは、別添の議案第24号説明資料、平成29年度幕別町文化賞・スポーツ賞等表彰候補者推薦要領をご覧くださいと思います。

幕別町文化表彰規則及び幕別町スポーツ表彰規則に基づいたものとなっておりますが、要点についてご説明させていただきます。

1 番の表彰の対象者につきましては、記載のような個人又は団体となります。

2 番の表彰の区分につきましては、次のページの上段にかけまして、文化、スポーツそれぞれ功労が顕著な方のほか、大会等の規模に応じて、成績の要件に該当する方となります。

3 番の推薦の対象となる期間につきましては、平成29年3月1日から平成30年2月末日までの1年間で、この間の事績・成績が表彰の対象となります。

なお、推薦に係る周知につきましては、町広報誌への掲載のほか、町内の小・中学校への説明、さらには、町内の高等学校、スポーツ少年団、体育連盟、文化協会に依頼文を発送しております。

4 番の表彰の方法につきましては、個人には表彰状とメダル、団体には表彰状と盾及びメダルを授与いたします。なお、団体のメダルにつきましては、幕別町に居住する方のみとなります。

5 番の表彰の制限につきましては、新たな年度において事績が全く異なる場合などを除き、同一の表彰を重複して受賞できないこととなります。

7 番の被表彰者の選考方法ですが、社会教育委員会の意見を聞いて、教育委員会が決定するものであります。なお、スポーツ関係につきましては、スポーツ推進委員会の意見を社会教育委員会にあげております。

8 番の表彰式につきましては、3月21日（水）の春分の日、百年記念ホールで行うこととしております。なお、同時に教職員への感謝状の贈呈を行うとともに、幕別町健全育成推進委員会の善行賞・標語の表彰も行われる予定であります。

続きまして、別添の議案第24号別紙、平成29年度文化賞・スポーツ賞等被表彰者一覧をご覧くださいと思います。

表彰該当者ということになりますが、これは3月7日開催の社会教育委員会において審議した結果となっております。

まず、文化関係につきましては文化賞の推薦はありませんでしたが、文化奨励賞は29名の個人、4つの団体で1ページ1番から3ページ上段の33番までとなります。

スポーツ関係につきましては、スポーツ賞は1名の個人、スポーツ奨励賞は43名の個人、13の団体で1番から7ページの最後56番までとなります。

なお、次にご説明いたします方は、2つ以上の表彰に該当となります。

1 ページ11番及び4 ページ26番の松田さんは文化奨励賞とスポーツ奨励賞のダブル表彰となります。

1 ページ12番のレインさんは3 ページ32番の団体のメンバーに、1 ページ16番の長谷川聡音さん、2 ページ17番の長谷川文香さん、18番の六郎田さんは3 ページ33番の団体のメンバーにもなっており、文化奨励賞の個人と団体のダブル表彰となります。

1 ページ4 番の高橋さんは6 ページ45番の団体のメンバーに、6 番の熊原さんは6 ページ48番の団体のメンバーに、2 ページ26番の佐藤さんは7 ページ55番の団体メンバーに、27番

の吉仲さんは6ページ54番の団体メンバーにもなっており、文化奨励賞個人とスポーツ奨励賞団体のダブル表彰となります。

3ページ5番の横田さん、6番の阿部さん、7番の小田さん、8番の山口さん、4ページ12番の武長さんは6ページ45番の団体のメンバーに、3ページ9番の花本さん、10番の木村さんは、6ページ46番の団体メンバーに、4ページ13番の佐々木佑果さんは6ページ49番の団体メンバーに、5ページ33番の竹ヶ原さん、34番の佐々木楓さんは、6ページ51番の団体メンバーにもなっており、スポーツ奨励賞の個人と団体のダブル表彰となります。

5ページ37番の高嶋さんは、6ページ52番と7ページ55番の団体メンバーにもなっており、スポーツ奨励賞の個人と団体2つのトリプル表彰となります。

続きまして、非該当者一覧をご覧いただきたいと思います。

推薦をいただきましたが、表彰の要件を満たさないなどの理由で表彰の非該当となった方の一覧であります。

文化奨励賞につきましては7名の個人で、非該当理由につきましては、1番、2番、3番、6番は、過去に受賞歴があるため、4番、5番は大会要件を満たしていないため、7番は全国規模の文化行事と考えられるが、順位が8位以内にはあたらないためであります。

スポーツ奨励賞につきましては16名の個人で、非該当理由につきましては、1番から3番、それと裏面の2ページになりますが、11番は、予選会が無い大会であるため大会要件を満たしていないため、4番と裏面の6番から10番、13番から15番は過去に受賞歴があるため、5番と裏面の12番、16番は、全十勝規模の大会で優勝していない、準優勝の場合は全道大会出場が条件となるためであります。

なお、文化奨励賞4番の原さんは、文化奨励賞の団体で、スポーツ奨励賞9番の笠原さんは、スポーツ奨励賞の団体でそれぞれ表彰該当となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 質疑なしと認めます。お諮りいたします。

議案第24号につきまして原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

田村教育長 異議なしと認め、議案第24号につきましては原案どおり可決いたしました。

そのほかに何かございませんか。

生涯学習課長(石野 郁也) チャレンジデーの実施についてについてご説明申し上げます。

チャレンジデーの趣旨は、スポーツを通じて明るく元気なまちづくりを進めるということです。

本町は5回目の参加となりまして、実施日は毎年5月の最終水曜日と決まっておりますため、本年は5月30日になります。

内容は、人口規模がほぼ同じ自治体による対戦方式で、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率を競い合うというものであります。

対戦に敗れた場合は敬意を表し、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚することとなります。

本年の対戦相手が先日決定いたしまして、7回目の参加となります秋田県仙北市になります。仙北市は、日本で最も深い湖である田沢湖が市の中央部にあり、市の面積は本町の面積の約2倍強で、人口は本町とほぼ同じ自治体であります。

チャレンジデーの参加対象者は、町民以外の通勤者、通学者、観光客なども含まれ、実施場所は、自宅や学校など幕別町内であればどこでもかまいません。

次に、昨年の実施結果であります。秋田県男鹿市との対戦で参加率は大きく伸ばしました

が、残念ながら2年連続しての勝利をあげることは出来ませんでした。

今年の特戦相手の仙北市は、昨年の全国平均の参加率57.7%には達していないものの、55パーセントを超える参加率となっている強敵ではありますが、勝利に向けて頑張りたいと思います。

以上であります。

田村教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません。)

田村教育長 そのほかに何かございませんか。

(ありません。)

田村教育長 ないようですので、以上をもちまして、本日の日程が全て終了いたしましたので、第4回教育委員会会議を閉じます。